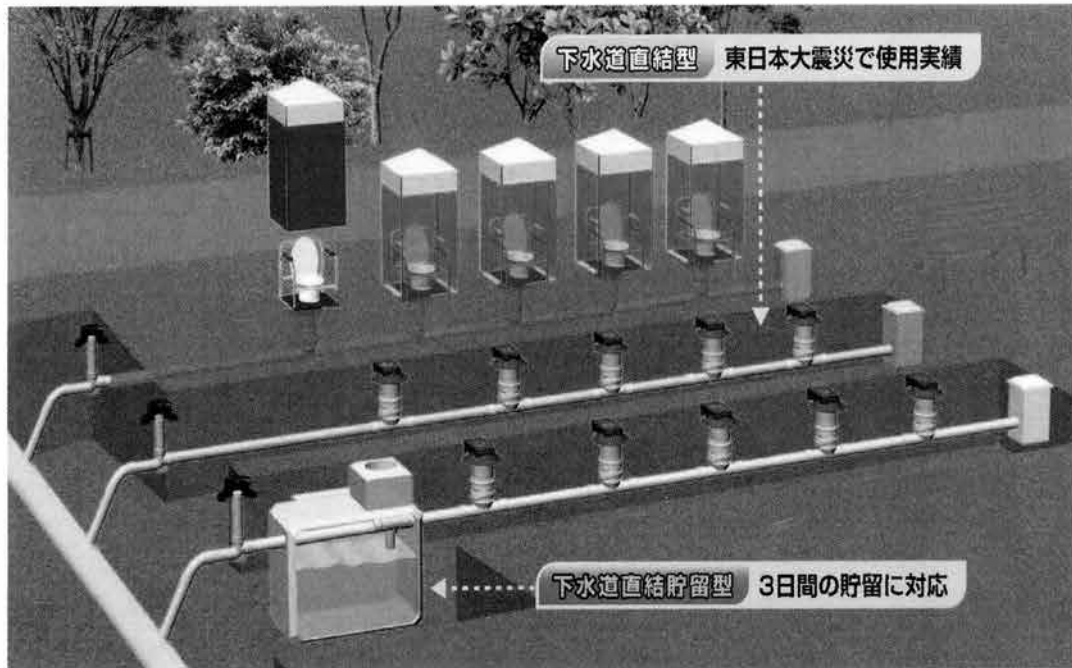


下水道直結型 災害用トイレ配管システム



災害用トイレ配管システムの特長

耐震性

砕石基礎
管が浮き上がらない
リブパイプ

災害用トイレに使用する本管は、塩ビ管では認められなかった砕石基礎が可能なリブパイプを採用しており、液状化に強い管路を形成します。

衛生的

洗浄ユニット貯水槽などからの洗浄水を定期的に通すことにより、臭いの発生も少なく衛生的です。

節水型

手押しポンプ

本管は耐震性のあるリブパイプのφ150を採用しており、少ない洗浄水で汚物を浮かせ、流下させることができます。また、利用者が手押しポンプで貯水することも容易であり、運用面に優れています。

コンパクト配管

曲がった場所でも
狭い場所にも

①トイレ下部には、リブ付き小型マンホールを使用しており、曲線管路の形成や狭い場所での設置が可能です。
②使用する管材がφ150と小さいため、既設管路が浅埋であっても、盛り土なしに埋設できます。

φ150 大口径管路

経済的

管材はφ150

使用管材がφ150と小さいため、大口径管路と比較して経済的です。

貯留型をお勧めする理由



- 下水道本管が被災した場合、汚水を下水道に流すことは困難となり、トイレが使用できない可能性があります。
- 貯留機能があれば、下水道管路の被災の有無に関係なく、トイレを使用することができます。

3日間の貯留にこだわった理由



- 3日間の貯留量があれば、バキューム車による各避難所からし尿処理場への運搬ローテーションが組みやすい。
- 各自治体では、食料・水などの3日間の備蓄が定着しており、汚水の貯留も3日間の容量が望ましいと考えました。